



今月のニュース

大相撲の地方巡業が、21年ぶりに深谷で開催されます。

当日は横綱をはじめとする力士たちによる本場所さながらの取組に加え、ちびっこ相撲、しよつきり(相撲の禁止手を面白おかしく紹介する見せ物)、相撲囃子(力士が土俵上から独唱する七五調の囃歌)なども行います。力士と触れ合う貴重な機会をお楽しみください。



【ちびっこ相撲】
出場者全員に、日本相撲協会より記念のまわしをプレゼント
対象 小学生男子
定員 30人
申し込み 3月20日(祝)までに大相撲深谷ふっかちゃん場所ホームページ(☎)『深谷ふっかちゃん場所』で検索から申し込み
※応募者多数の場合は抽選

大相撲『深谷ふっかちゃん場所』開催!

●問い合わせ 生涯学習スポーツ振興課(☎572-9581)

『第8期ふかや市民大学』受講生募集

●問い合わせ ふかや市民大学事務局(生涯学習スポーツ振興課・☎572-9581)

とき	内容(講座テーマなど)
4月22日(出)	開校式、学長講話、オリエンテーションなど
4月29日(出)	深谷市の歴史
5月20日(出)	渋沢栄一関連講座
6月 3日(出)	渋沢栄一関連施設現地学習
6月17日(出)	認知症サポーター養成講座
7月 1日(出)	成年後見制度
7月15日(出)	災害への備え、普通救命講習
9月 9日(出)	市民主体のまちづくり
9月23日(祝)	川本地区の伝統芸能
10月 7日(出)	埼玉工業大学講座
10月28日(出)	ロコモティブシンドローム予防講座
11月11日(出)	環境学習講座
11月18日(出)	東都医療大学講座
12月 2日(出)	渋沢栄一の晩年の思想にふれる
12月16日(出)	消費生活講座
1月13日(出)	コンサート
1月20日(出)	食の安心・安全
2月 3日(出)	国際理解と交流活動
2月17日(出)	副学長講話、卒業式

※講座内容・日程などは変更になる場合があります

『ふかや市民大学』は、市民の生涯学習やボランティア活動への理解を深め、学習を通して人と人とのつながり、学習成果をまちづくりに生かすことを目的として実施します。

対象 次の要件を全て満たすかた
 ■市内在住・在勤
 ■深谷市に関心があり、地域に積極的に関わる意欲がある
 ■4月1日(出)現在で16歳以上

とき 原則毎月2回・土曜日

午前9時30分〜正午(開校式を含む全20回)
定員 80人(応募者多数の場合は抽選。市内在住の新規応募者優先)
入学金(学費) 1万円
 ※芸術鑑賞の入場料などは、別途負担
申し込み 1月5日(木)〜2月28日(火)までに問い合わせ先へ。または、応募用紙を直接問い合わせ先か、総合支所市民生活課、公民館へ

国民年金からのお知らせ

●問い合わせ 熊谷年金事務所(☎522-5012) 保険年金課(☎574-6641) 岡部市民生活課(☎585-5496) 川本市民生活課(☎583-2783) 花園市民生活課(☎584-1121)

20歳になったら国民年金
 日本国内に在住の20歳以上60歳未満の全てのかたは、国民年金に加入して保険料を納めることとなります。

20歳になって、学生・自営業者・フリーターなど(無職のかたも含む)、第1号被保険者となるかたは、住所地の市区町村役場で加入の手続きが必要です。

また、厚生年金や共済組合加入者(第2号被保険者)に扶養されている配偶者(第3号被保険者)のかたが20歳になったときは、第2号被保険者の勤務先を経由して加入手続きを行うこととなります(第2号被保険者が20歳になったときは、加入手続きは必要ありません)。

平成28年度国民年金保険料は1万6260円です。

学生や経済的に保険料の納付が困難なかたの場合は、『学生納付特例』や『納付猶予』など、保険料の支払いを猶予する制度がありますので、加入手続きと併せて申請してください。

この申請を行わないまま、国民年金保険料が未納となっていると、年金(老齢年金や障害年金など)が受け取れないこととなりますので、必ず手続きを行ってください。

老齢年金受給者の皆さんへ
 老齢または退職を支給事由とする厚生年金・国民年金などの公的年金を受け取られているかたには、1年間に支払われた年金の金額や源泉徴収された所得税額などをお知らせする『公的年金等の源泉徴収票』が1月中旬〜下旬に日本年金機構から送付されます。この源泉徴収票は、確定申告や、源泉徴収の還付を受ける際に添付する必要がありますので、大切に保管してください。

※遺族年金・障害年金受給者には、源泉徴収票は送付されません。
 ※源泉徴収票の再交付は、熊谷年金事務所または『ねんきんダイヤル』(☎0570-05-1165)へ

(有)ワールドファームの深谷市への農業参入に伴う協定締結

●問い合わせ 農業振興課(☎577-3298)

市が抱える農業課題

農業従事者の高齢化	平均年齢5.8歳上昇 60.6歳→66.4歳
農業経営体の減少 (農家数の減少)	経営体(農家)が587減少 3,214経営体→2,627経営体
遊休農地の増加 (耕作されない農地の増加)	遊休農地が38.02ha増加 126.43ha→164.45ha

▲平成22年から平成27年の推移を示しています

農業参入に伴う協定を締結
 市と(有)ワールドファームは、農業従事者の高齢化や農業経営体数の減少などの課題を解決するための協定を、11月17日に県内の自治体として初めて締結しました。

協定では、『市が(有)ワールドファームの農作物生産や6次産業化などの事業展開に協力をしていくこと』や、『ワールドファームが事業を展開する際には、地元在住者の雇用に努め、地元業者との取り



協定締結の様子。右から(有)ワールドファーム上野裕志代表取締役社長と小島市長

引きをできる限り行うこと』などを定め、協力して市の農業を活性化していきます。

(有)ワールドファームの概要
 平成12年に茨城県を本拠地として設立された有限会社で、鳥取県、鳥取県倉吉市など5つの協定を締結しているほか、秋田県や大分県など全国に生産拠点を設け、キャベツなどの野菜生産およびカット野菜、冷凍野菜、乾燥野菜などの加工販売まで一貫して行っています。